

HJ-150 コンパクトスケール

取扱説明書

使用上の注意

- ❑ 直射日光が当たる場所や高温多湿となる場所に放置しないでください。
- ❑ 風の少ない場所で、しっかりした水平な台の上でお使いください。
- ❑ 振動や強い電界・磁界のあるところ、温度・湿度変化の大きなところでの使用は避けてください。
- ❑ 携帯電話など他の電子機器のそばでの使用は避けてください。
- ❑ 異なった種類の電池、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。
- ❑ 液漏れによる故障を避けるため、長い間使わない場合電池を抜いてください。
- ❑ 衝撃やひょう量を超える荷重をかけないでください。故障の原因になります。
- ❑ スケールを使わないとき、持ち運ぶときは本体カバーを着けてください。
- ❑ 安定な計量のため、電源オン後 6 秒以上待ってからお使いください。
- ❑ 常に正確な計量を保つため、使用場所、温度などの環境が変わったときは、使用前にキャリブレーションを行ってください。
- ❑ **Lo** が表示されたり、電源オンして 30 秒以上 **88.88** 表示のままの場合、新しい電池に交換してください。

仕様

ひょう量/目量: 150 / 0.1 g

計量可能範囲: 0.2g~150g

直線性: $\pm 0.2g$

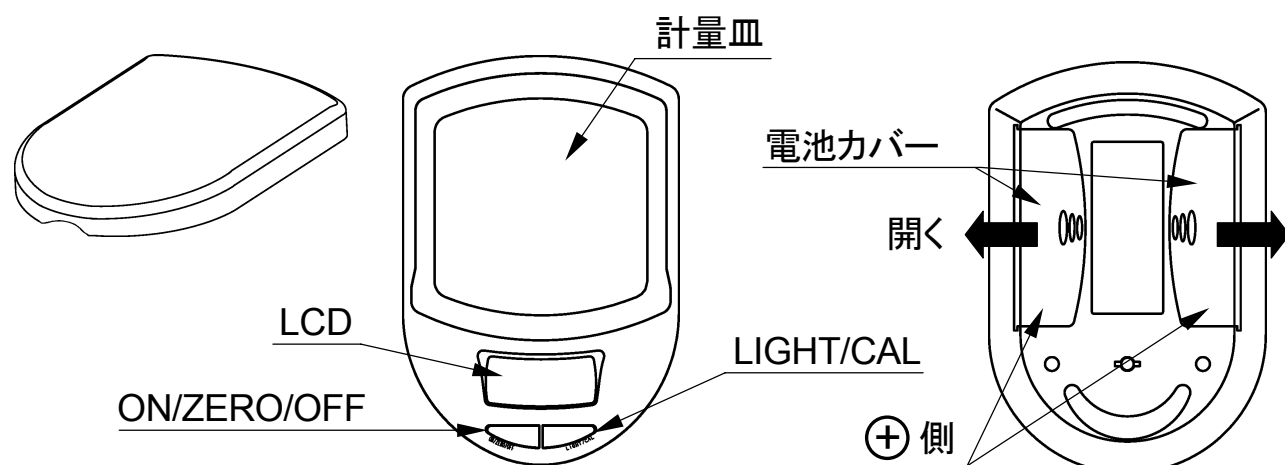
再現性: 0.1 g (標準偏差)

使用環境: 5℃~40℃/ 85% R.H. 以下 (結露しないこと)

表示: 7 セグメント LCD、バックライト付き

電源: 単 4 形乾電池 × 2 本、約 80 時間 (アルカリ乾電池、バックライトオフ)

標準付属品: 取扱説明書、100g 分銅、モニター用乾電池 2 本



スイッチの動作

ON/ZERO/OFF

押すと電源が入ります。動作中に押すと表示をゼロにします。約 3 秒間押し続けると電源オフとなります。

LIGHT/CAL

スケール動作中でバックライト消灯時に押すと、バックライトが点灯します。約 3 秒間押し続けるとキャリブレーションモードになります。

電池の入れ方と交換方法

二つの電池カバーを外し、両方に新しい単 4 形乾電池をケースの極性表示に従い正しく入れてください。電池カバーをもとのように取り付けます。

- ❑ 計量皿に力がかからないよう、必ず本体カバーをつけた状態で行ってください。

基本操作

1. 電源のオン/オフ

ON/ZERO/OFF を押すと電源が入り、全表示が点灯した後ゼロ表示となります。バックライトも同時に点灯しますが、約 1 分後に消灯します。

LIGHT/CAL を押すと再び約 1 分間点灯します。

ON/ZERO/OFF を 約 3 秒間押し続けると、電源オフとなります。

- ❑ 電源を入れたとき、計量皿に手を触れるなど不安定な状態が約 15 秒続くと、**88.88** から **E** 表示となった後電源オフとなります。
- ❑ 電源を入れて 30 秒以上、**88.88** 表示のままの場合、新しい電池に交換してください。

2. 計量

最初にゼロ表示を確認します。ゼロでない場合、**ON/ZERO/OFF** を押してゼロ表示にします。容器を使う時は空の容器を計量皿中央に載せてから **ON/ZERO/OFF** を押し、ゼロ表示にします。計量物を皿に載せる、あるいは容器に入れて表示が安定したら読み取ります。

- ❑ **E** 表示は過負荷状態を表します。皿の上の物を直ちにに取り除いてください。

オートパワーオフ機能

不必要な電池の消耗を防ぐため、物を載せ表示安定状態が約 2 分間続くと、自動的に電源オフとなります。なお、物が無い状態では、約 30 秒後に電源オフとなります。

キャリブレーション

1. 計量皿に何も載っていないことを確認し、**LIGHT/CAL** を約 3 秒間押し続けます。表示が、**[CAL]** になったらスイッチを放してください。
 2. スケールはゼロ点を記憶し、自動的に **1000 g** 表示になります。
 3. 10 秒以内に付属の 100g 分銅を計量皿中央に載せます。
 4. 約 8 秒後 **[F]** を表示して電源オフになったら終了です。
 5. 電源オンにして分銅を載せ、正しくキャリブレーションできたことを確認してください。
- ☐ ステップ 4 で **[E]** が表示された場合、計量皿に触れているものはないか、振動や風がないか、正しい分銅かどうかなど確認して再度行ってください。

外形寸法図

